

たたかいの秋・沖繩に呼応！『学習・宣伝』



『代表理事・常任理事はこんな人』

第三回目は、代表理事・植田金雄さんです。



私は長野県の貧困な農家に生まれました。定時制高校に通っているときに、信州大学の人たちと共に、長野の民主青年同盟の設立に参加しました。そのような時期に、第1回原水爆禁止大会に参加することなどを通して、平和運動に関わりをもっていきました。

茨城に来て1年くらいしてから、百里基地反対運動を知りました。若い頃、安保反対運動なども経験しました。

妻の実家のある茨城県に越してきて、電器店を起こしてから五十数年経ちます。これからも平和の大切さを訴えていきたいと思っています。

学習会へこぞってご参加を！

沖繩が変われば日本が変わる

とき：2010年10月24日（日）

（午後1時半～4時半）

ところ：グリーンパレス石岡（旧石岡営農研修センター）

（石岡市茨城3-16-10 / Tel.0299-23-2045）

講演：「どうなる沖繩知事選

=米軍基地撤去のたたかい=」

講師：山田 敬男 氏（労働者教育教会会長）

参加費無料 ご参加をお待ちしております。

主催：茨城県平和委員会



よびかけ

いま、沖繩では宜野湾市にある普天間基地を名護市の辺野古に移設するか、どうかの問題で県内を二分にし、11月の県知事選挙に向けてそれぞれの陣営が取り組みを強めています。

今回の沖繩県知事選は、「沖繩が変われば日本が変わる」といわれるほど、日米安保条約をゆるがす大きな政治的課題を背負っています。今年1月の名護市長選挙での基地反対派の勝利。県議会の辺野古移設反対決議。4・25の県知事・全自治体首長反対の全県民集会（9万人）。9月の名護市議会議員選挙における基地反対派の圧倒的勝利とたたかいが進んでいます。

支援連帯の輪を拡げるために、学習会を開催します。

どうぞお問い合わせご参加下さい。

『2010年日本平和大会 in 佐世保』

核兵器も基地も軍事同盟もない平和な日本とアジアを！ ..いま、沖繩と心ひとつに..

各平和の会で代表を送ろう！

できるだけ多くの方の参加をお願いします。

10月末までに各平和の会で参加者を取りまとめてください。



- 12月2日（木）
午後：「国際シンポジウム」（アルカス世保大会議室）
夜：「海外代表歓迎レセプション」
- 12月3日（金）
午後：「基地調査行動」
夜：「開会総会」（アルカス世保大ホール）
- 12月4日（土）
午後～午後：「シンポ・分科会」
夕：「交流と文化の夕べ」（アルカス世保大ホール）
- 12月5日（日）
午前：「屋外集会と市内パレード」



- シンポ：本当に米軍基地、日米安保は「抑止力」なのか？
- シンポ：なぜここまでくらしが破壊されるのか？
- 米軍基地のない沖繩と日本をめざす草の根運動の交流
- イラク、アフガンで米軍・自衛隊は何をしたのか？
- なぜ、米軍犯罪・被害はなくなるのか？
- 本当にもう日本への核持込はないのか？
- 子どもたちに迫る米軍・自衛隊
- 自衛隊の戦争体制づくりはどこまで来た？
- 知ってますか？日本の「死の商人」の姿を
- 韓国併合100年、東アジアへの植民地支配と武力侵略への「戦後補償」の完全な清算を

第3回 常任理事会 開催のお知らせ

1. 日時：10月13日（水）午後1時30分～5時
2. ところ：水戸市福祉ボランティア会館（ミオス）
第2小研修室（Tel.029-309-1001）
（JR常磐線赤塚駅北口隣接・徒歩1分）

平和意見広告のとりくみ・秋のいっせい宣伝行動・沖繩県知事選の支援・日本平和大会・学習会へのとりくみ等について、意思統一を図ります。

平和新聞

2010年10月5日(火曜日)
1937号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 575
2010.10/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



【宜野湾市を表敬訪問した沖縄ツアーに参加者21名】



【沖縄県知事選立候補を表明した伊波宜野湾市長】

沖繩ツアー感想特集

沖繩基地ツアーに参加して

ふじしろ平和の会 渡辺 昭七

4日間の沖縄旅行は、如何に、無知であるかを知らされたものでした。

参議院選挙の結果と普天間基地問題がすっきりと整理できないまま、モヤモヤしながら沖縄へ。鳩山政権を8ヶ月の短命に終わらした原因の一つに「普天間基地」移転問題があったにも関わらず「無条件撤去」を掲げた候補の得票が少なかった。何故??

兎に角、沖縄に行けば解決する方法が見つかるかもしれないし、聞けるかもしれないと勇んで飛行機に搭乗したものです。

沖縄の歴史について、何も知らなかったという事が判った。悲しいことに。

基地の実態、沖縄戦、戦後の沖縄の歴史も、何もかも。

伊江島を案内してくれた、名護市 沖縄戦史料編纂室の川満さんに二つの疑問をぶつけました 『① 資料を編纂するとき、歴史観を異にする市民との関係は。 ② 今回の参議院選挙と基地問

題について』、応答は「① あった事実を市民の目線で記述すれば問題にならない。 ② さまざまるけれども、沖縄の歴史を勉強してください。」というものでした。

辺野古で「基地建設で反対」で頑張っているご婦人たち「年金は高速代で消えてしまう。」と明るく笑っている姿に励まされました。『茨城でも頑張れ・・・』と。

今回の旅行でも、「人を殺す行為を目的とした軍隊は、人間性を否定することで成り立つ組織である限り、国民、市民を守る組織でない。歴史はそのことを証明している。」ということを強く感じました。

最近、悪魔が耳元でささやく「中国に軽視されているのか」、次にまたささやく「領海から追い出すくらい力が必要ではないか」、次にまたささやく「抑止力として、核兵器、軍事力は必要ではないか」。

『命は宝』の声を大きく茨城の空の下、響かせたいものです。

訃音

百里平和委員会会長・元百里反対同盟委員長の宮沢昭さんが、9月14日逝去されました。享年82歳。謹んで冥福をお祈りいたします。百里弁護団事務局長の池田真規さんの弔電を掲載させていただきます。

故宮沢昭氏に捧げる別れの言葉

宮沢さん、長い長い闘いでしたね。心からお疲れ様でした、としか言う言葉がありません。

自衛隊は憲法違反と主張して闘った31年にわたる裁判闘争。その闘いの中で宮沢さんの「戦争のためには土地は渡さない」という揺るぎのない理念を貫徹し続けて闘う姿に魅せられて、親しくさせて戴いたことは、私の人生に大きな心の支えでありました。次々に防衛庁に切り崩されてゆく同盟の衰退の地獄のなかで、子供たちに土地を守る闘いを受け継いでもらおうと、水のない百里で、地下水を汲み上げて「豊かな水田を作る」という農民の大きな夢を実現して、百里の古老を仰天させた、あなたの驚くべき執念と偉大な功績は不滅です。

そして、最高裁判所での百里裁判の敗訴判決を受けた報告集会で、「最高裁判所がどのような判決を出そうと、自衛隊は絶対に憲法違反であります。」と昂然と胸を張ったあなたの自信に満ちた姿を忘れることができません。

世界は、戦争という「殺し合い」を止めようという流れが確実に始まっています。

「戦争のためには土地を渡さない」という百里の農民の闘いは、その先鞭をつけたものとして歴史に残るでしょう。

宮沢さん、大きな仕事をしました。ゆっくりと安らかにお眠りください。

池田 真規

学びの秋にぜひご購入を!

学び・調べ・考えよう/フィールドワーク

『茨城県の戦争遺跡』(伊藤純郎編/平和文化)

= ¥ 7 0 0 =

★本書を片手に「茨城県の戦争遺跡」について学び・調べ・考えるフィールドワークに出発しましょう。

県平和委員会に有ります。